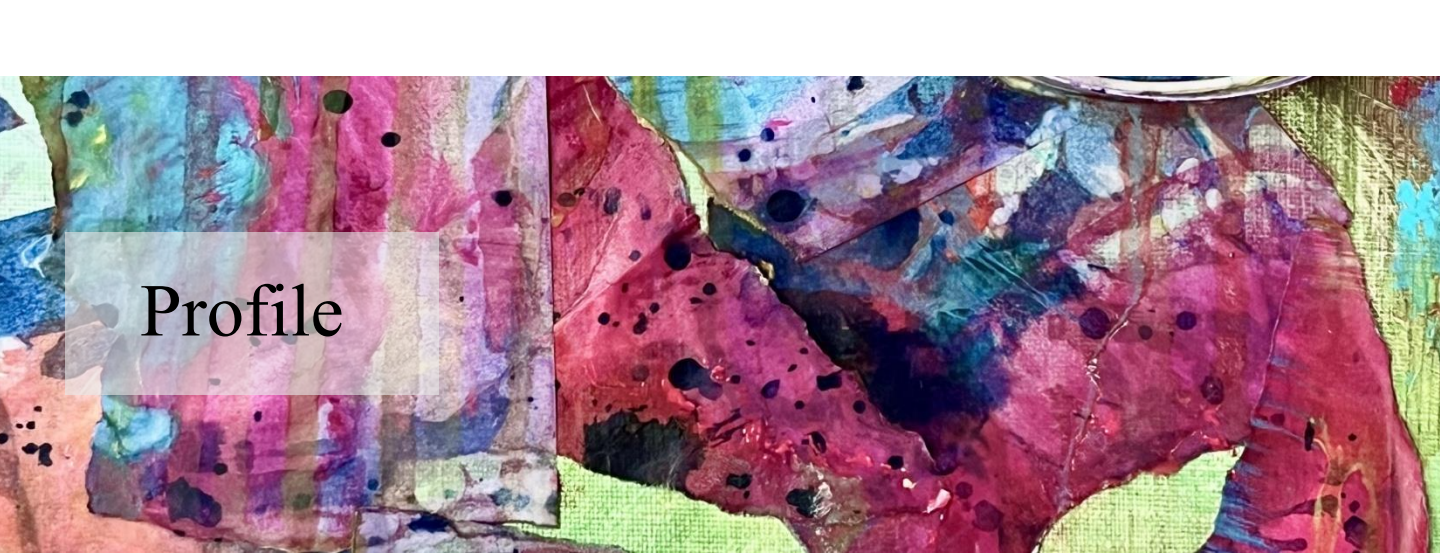


ポートフォリオ

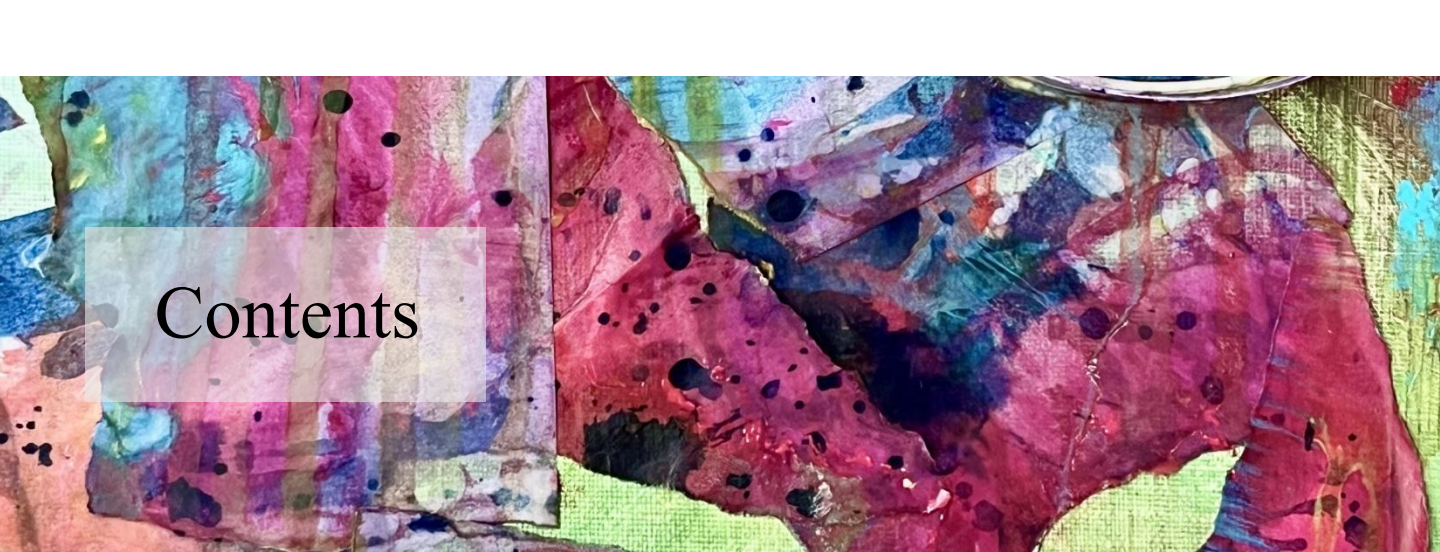
氏名:

志望:



Profile

氏名：
誕生日：
好きな食べ
好きな動物：
特技：
好きな言葉：



Contents

プロフィール

...P2

目次

...P3

A区分

木炭作品

...P5～9

B区分

油彩作品

...P11～20

作品表現の習得

...P21～23

自主制作

...P24～40

卒業制作

...P41～43

ペン画

...P44

ドローイング

...P45～48

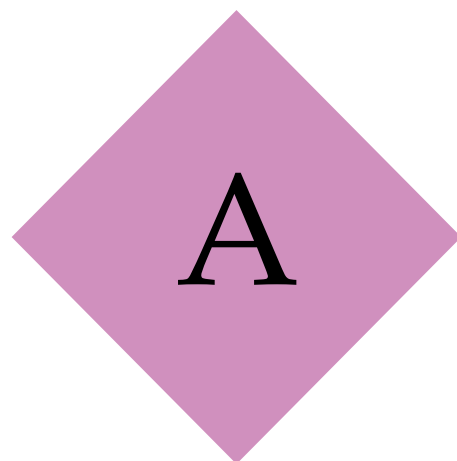
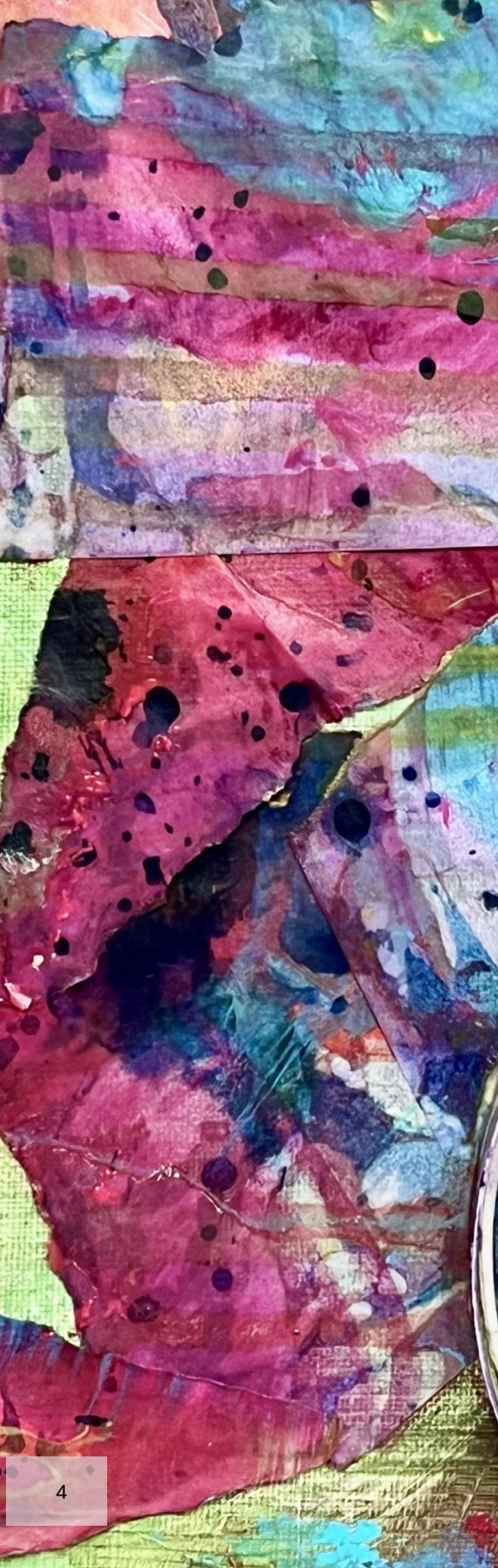
C区分

集団制作

...P50～51

イラスト

...P52～54



基礎的能力を示す
資料

木炭





想定課題「ゆがみ」モチーフ: ペットボトル、身体の一部

2025年8月(6時間)木炭紙、木炭、鉛筆

予備校内コンクール第1位受賞作品



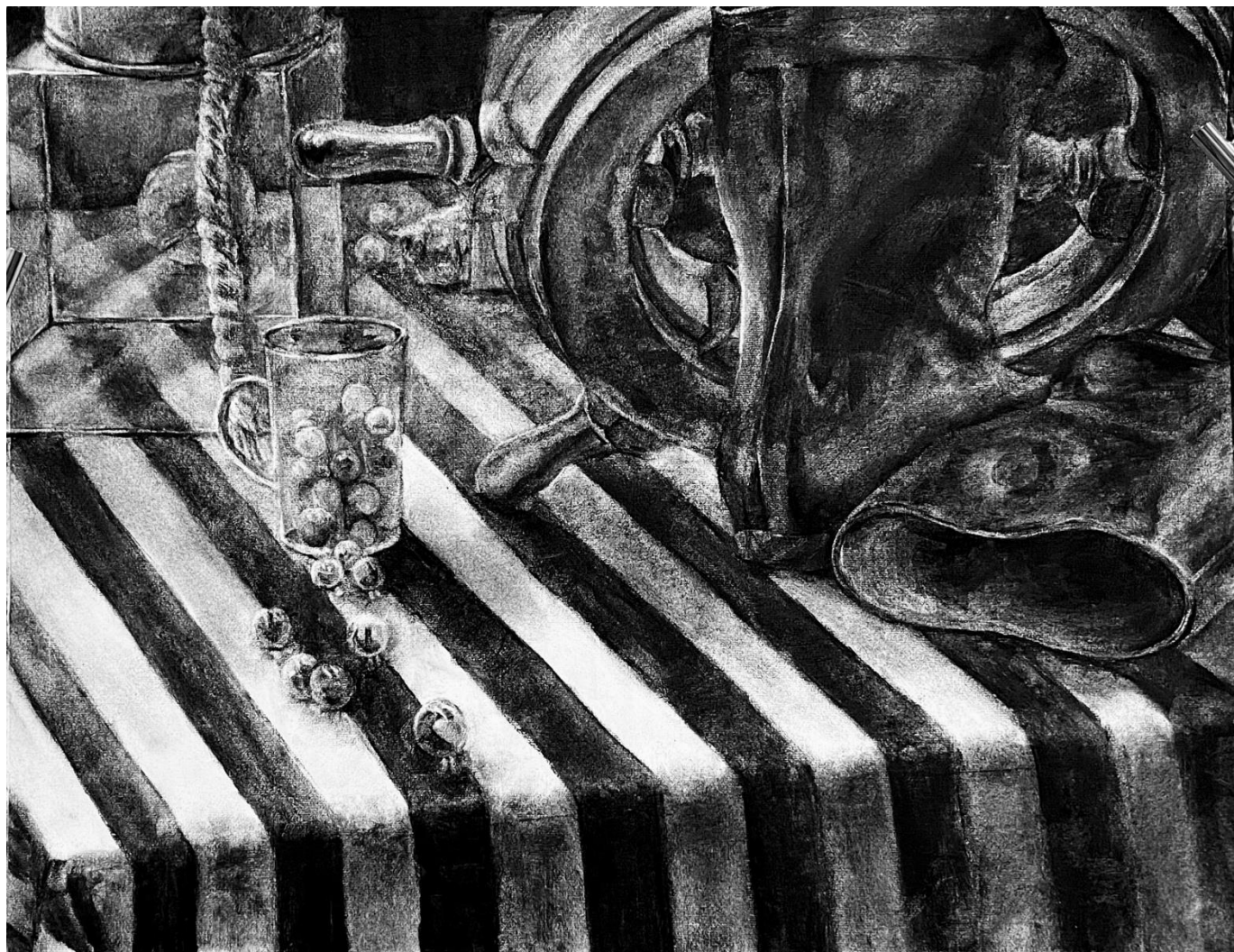
石膏デッサン2025年4月(18時間)木炭紙、木炭、鉛筆



静物デッサン

2025年4月(17時間)

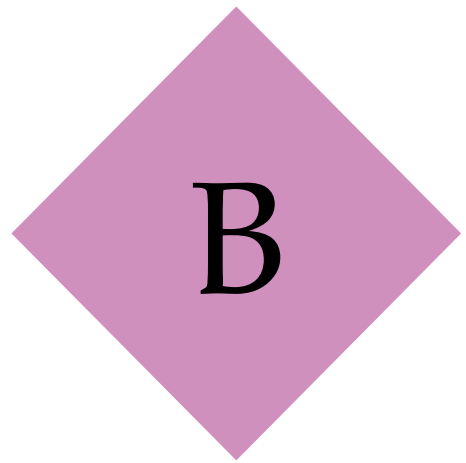
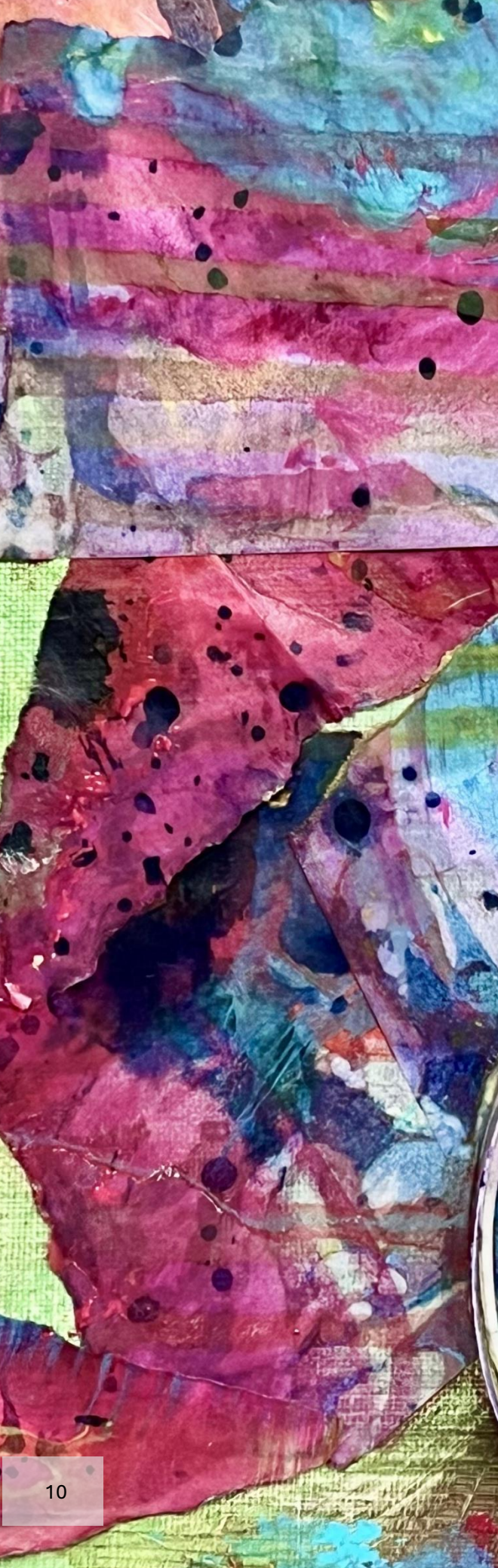
木炭紙、木炭、鉛筆



静物デッサン

2024年9月 (30時間)

木炭紙、木炭、鉛筆

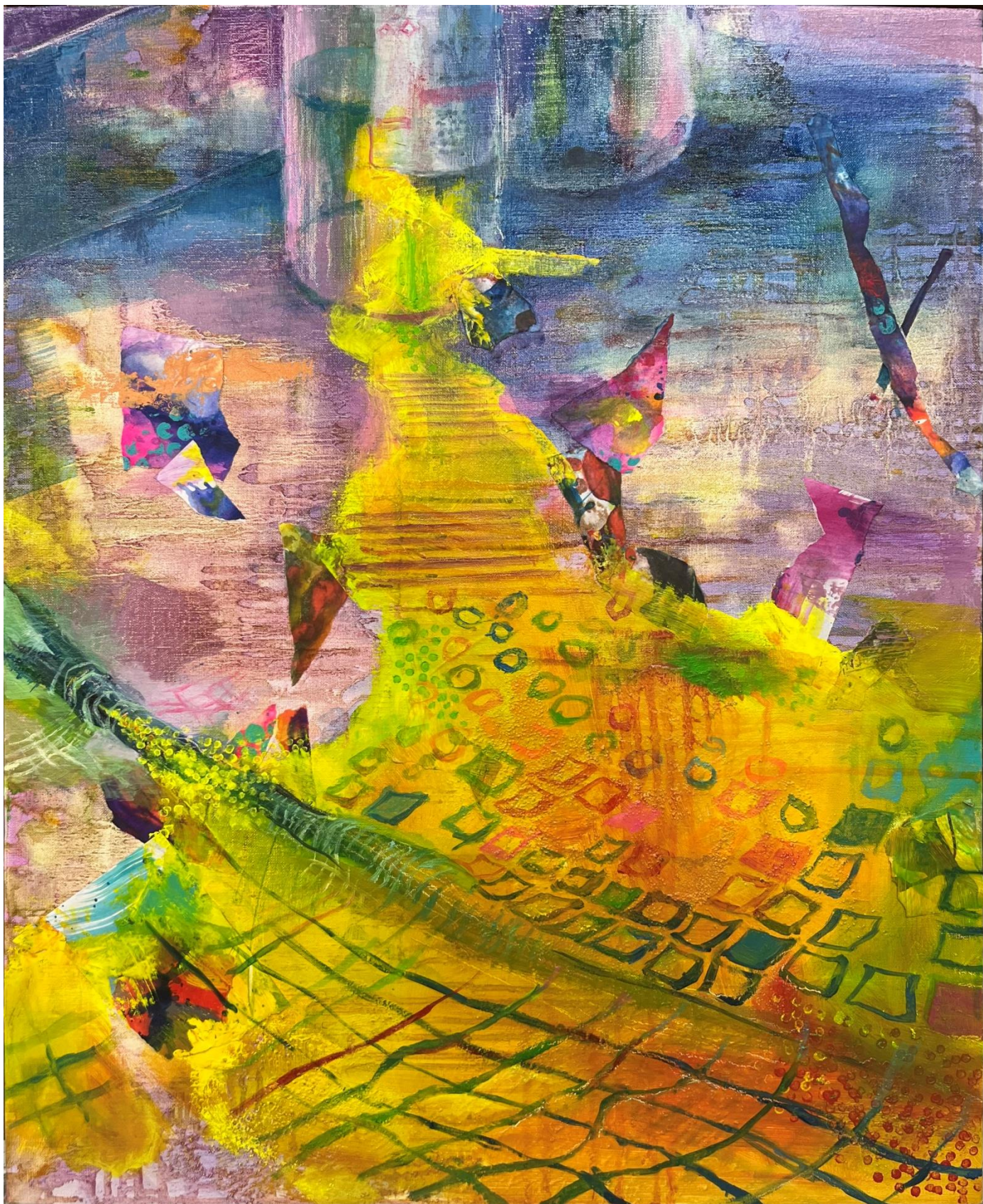


専門的能力を示す
資料

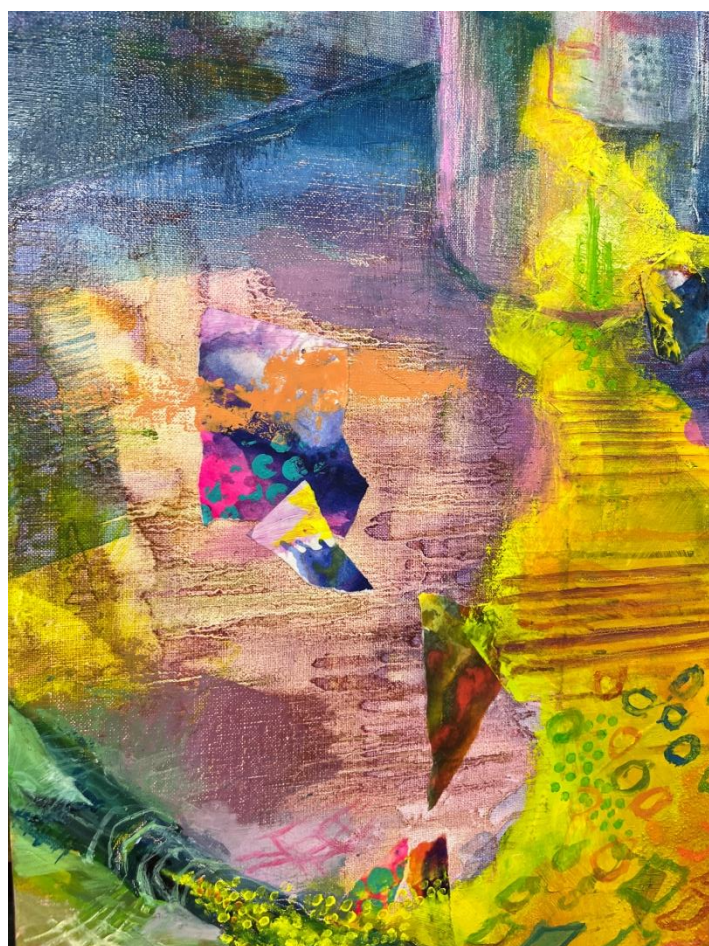
油彩



静物油彩 2025年3月(23時間)F15キャンバス、油彩絵具、アクリル絵具



「溢れる」 2025年6月(23時間)F15キャンバス、油彩絵具、アクリル絵具、コピー用紙



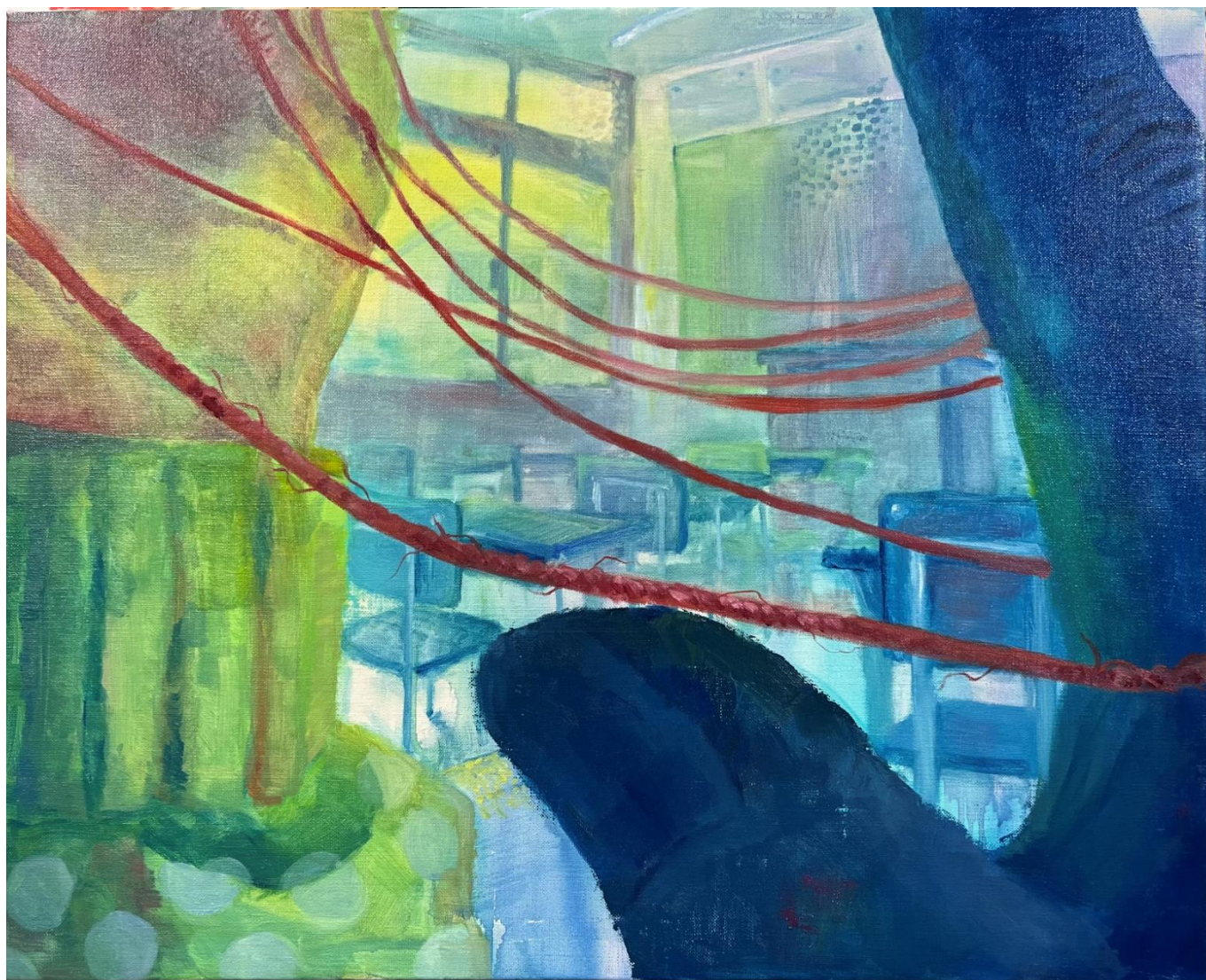
エスキース



アトリエの床に敷いたシートが一部裂けていたことから着想を得た。
 裂け目を見つめているとその素材感から様々な形が見えてきて、
 想像が膨らむ様子を描きたいと思いこのような構成にした。
 黄色の色面の中では幾何学形態や点描といった表現で他の部分との差を
 つけた。アクリル絵具でのドローイングを散りばめて画面に変化を
 与えている。

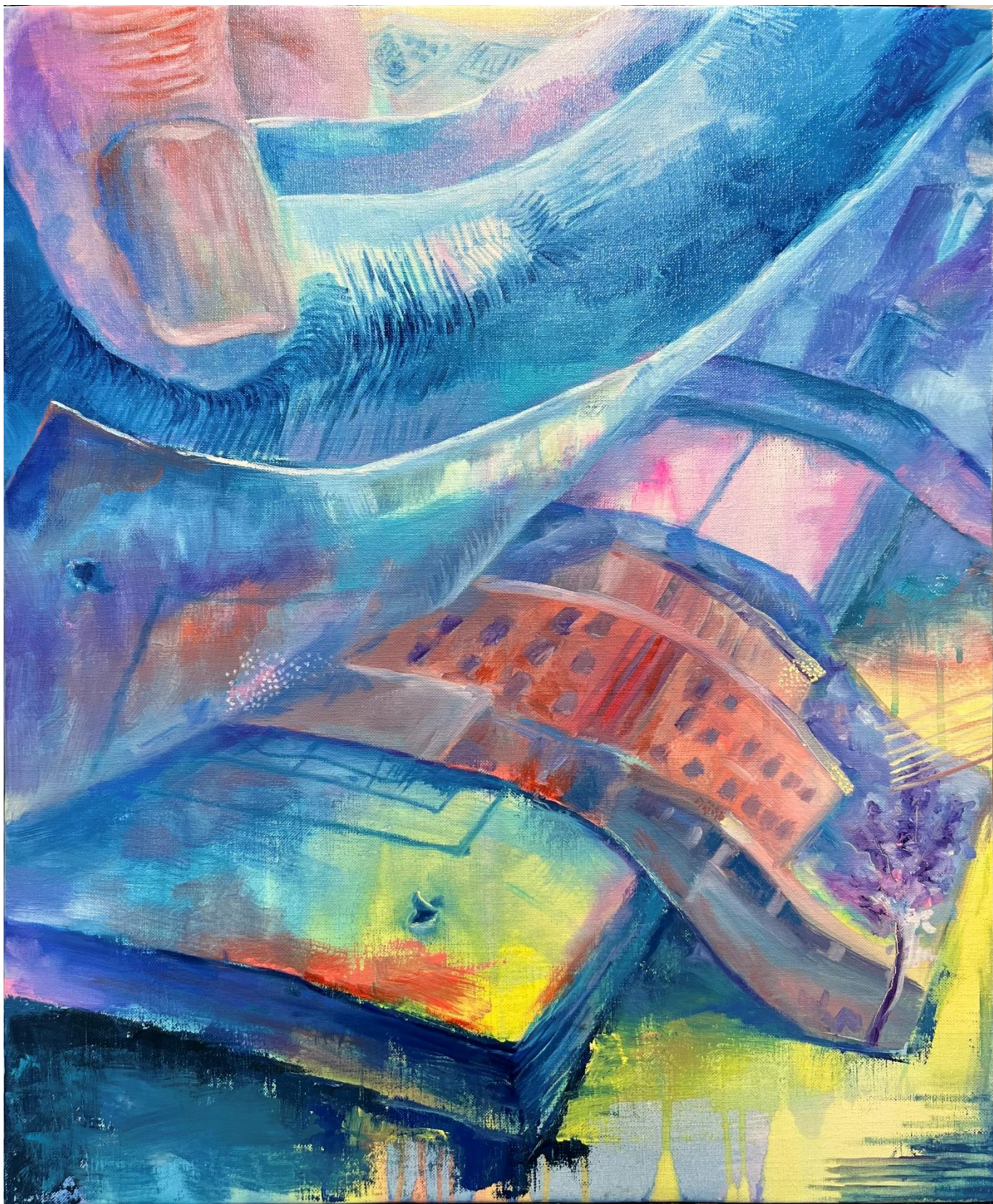


静物油彩2025年6月(25時間)F15キャンバス、油彩絵具、胡粉ジェツソ



想定課題「ひとり」モチーフ: 身体の一部

2025年1月 (6時間) F15キャンバス、油彩絵具、アクリル絵具

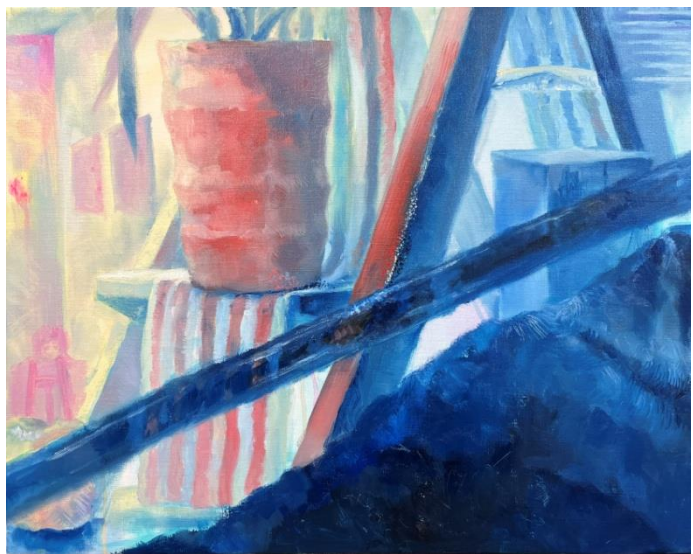
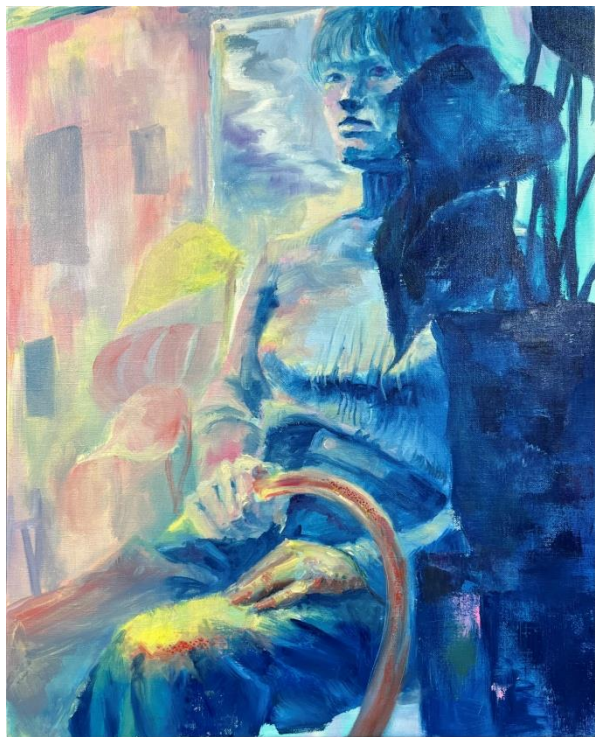


想定課題「ふせん」 モチーフ:新聞

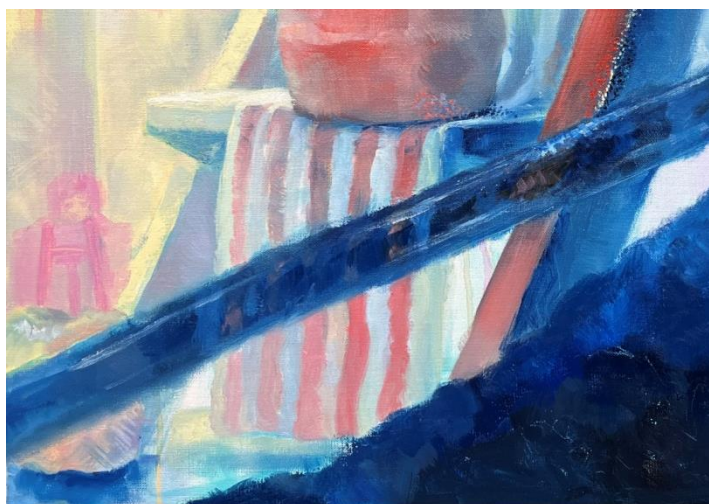
2025年1月 (6時間)F15キャンバス、油彩絵具、アクリル絵具



静物油彩 2025年1月(10時間)F15キャンバス、油彩絵具、アクリル絵具、
モデリングペースト



静物油彩 2025年1月(各6時間)F15キャンバス、油彩絵具、アクリル絵具



前景に見えるモチーフを大きく
暗く入れ、さらに遠景を強調して
小さく明るく入れることで
距離感が感じられやすい
ように意識した4作。





静物油彩

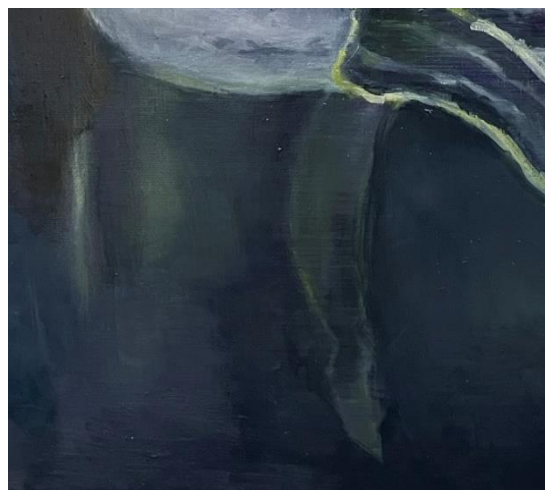
2025年1月(6時間)F15キャンバス、油彩絵具、アクリル絵具

作品表現の習得



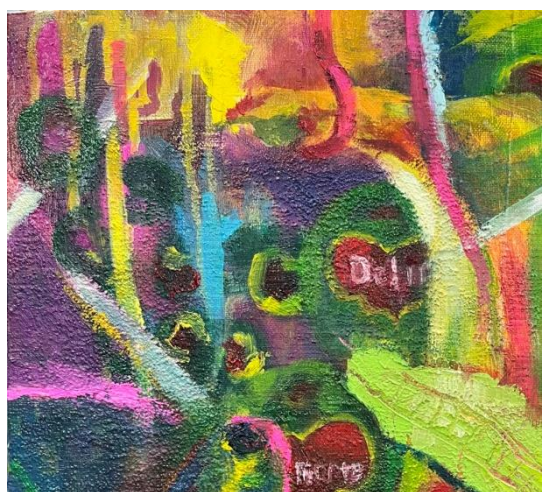
参考元: ゲルハルト・リヒター

ぼやけていっつも手前に来る部分は強くコントラストをつけて強調した。



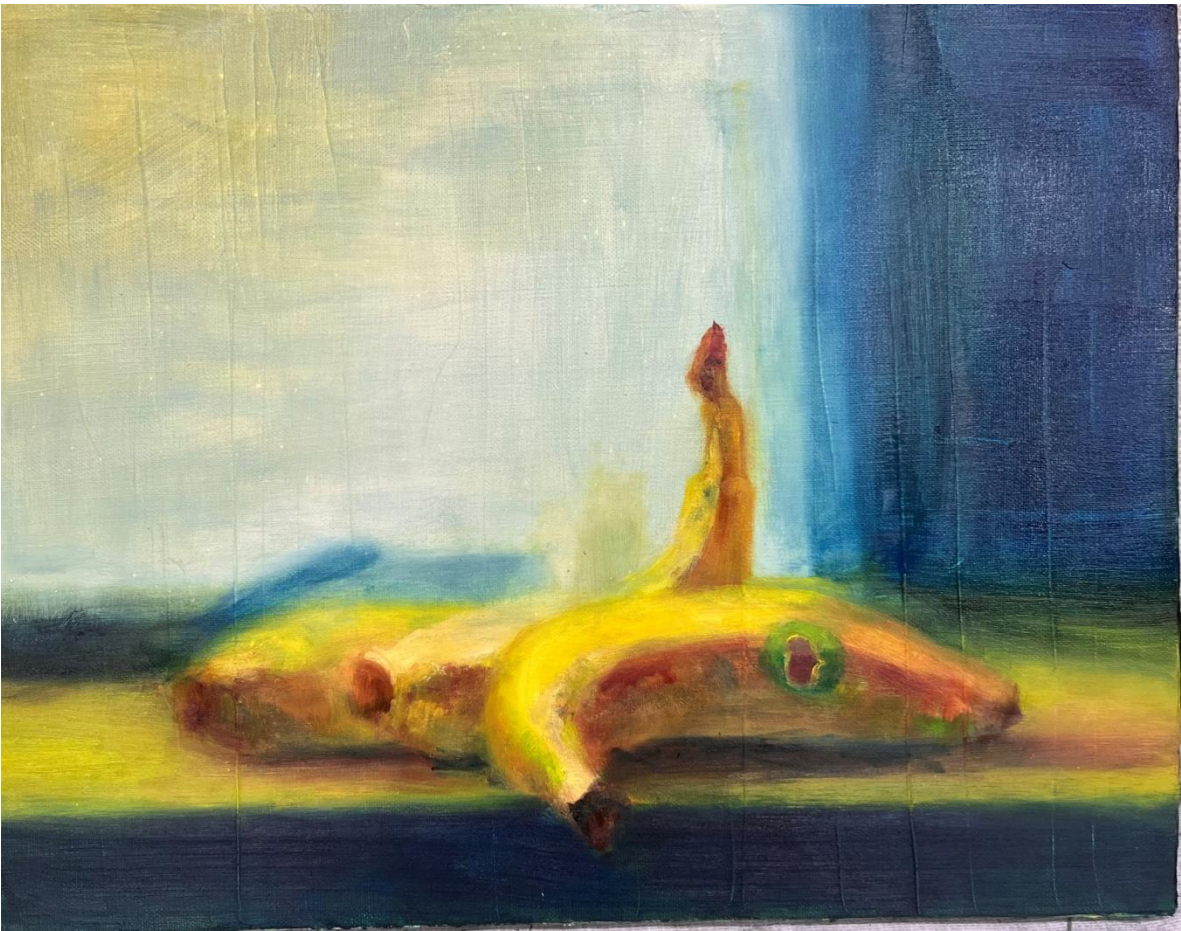
参考元: リュック・タイマンス

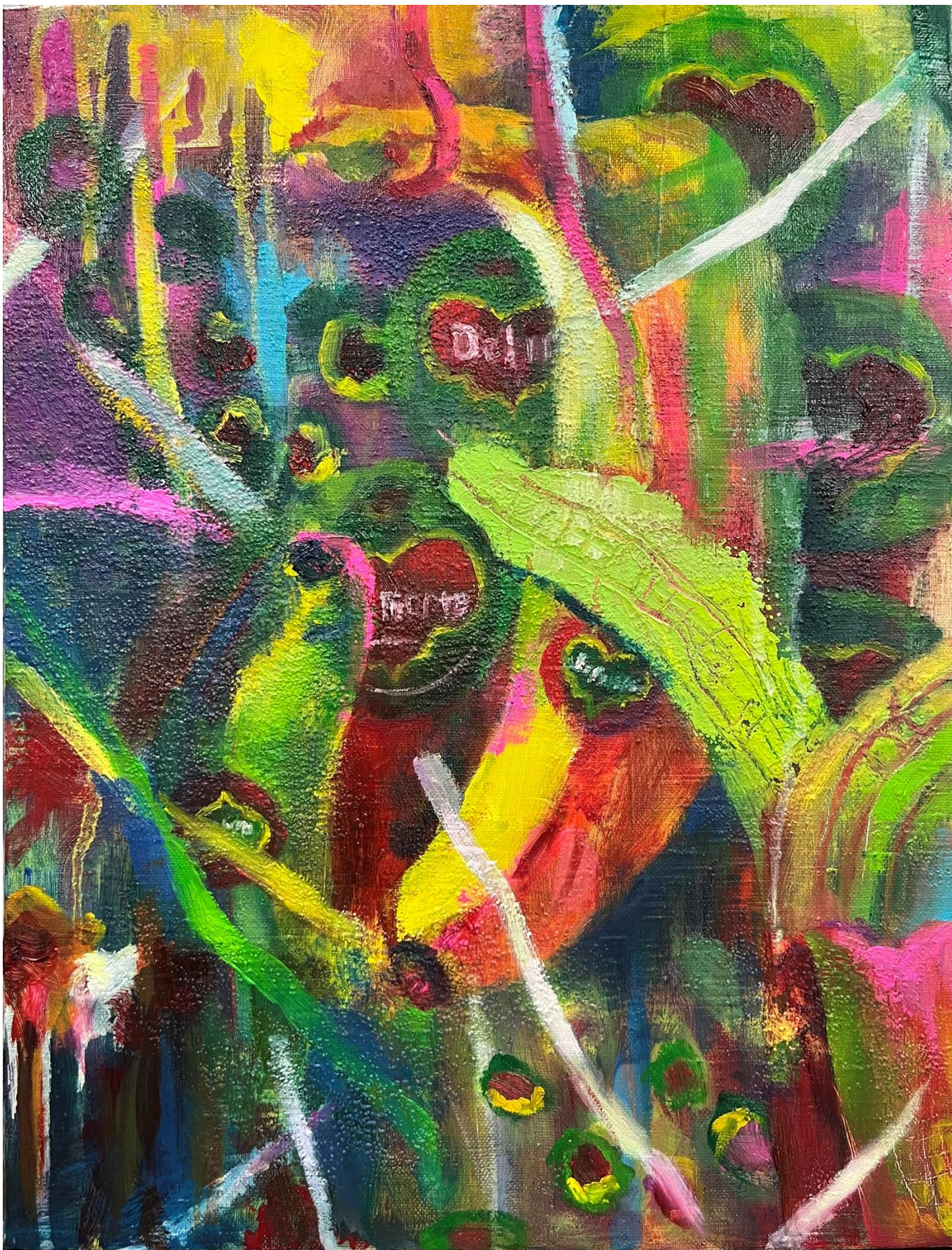
色面の面積が大きかったので単調にならないようにグレースを繰り返し深みを出し、細かな色の差で空間が感じられるように工夫した。



参考元: 大竹伸朗

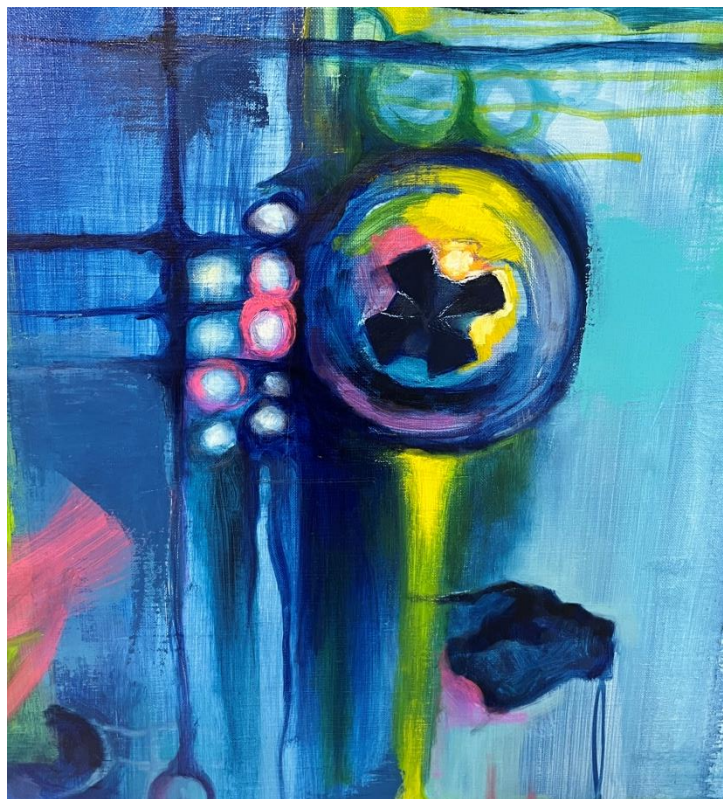
どのように配色しているかや素材感を参考に取り入れ、モチーフと合うように構成した。







2025年8月 (15時間)F25キャンバス、油彩絵具

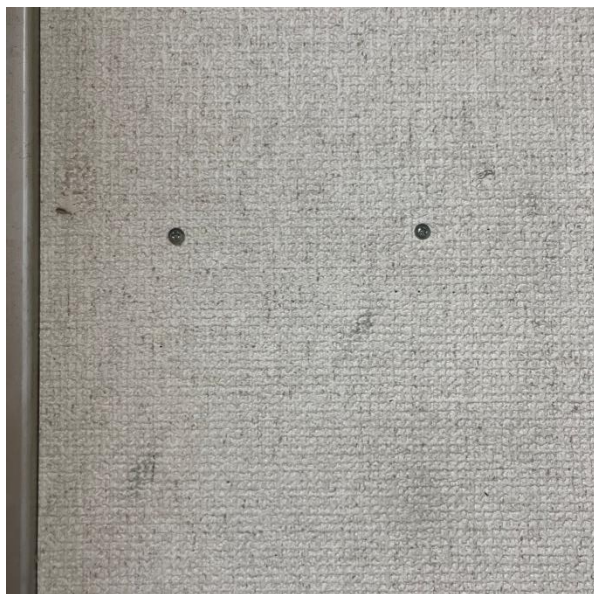


予備校の壁にネジが刺さっていたところから着想を受けた。壁とネジは元々別の物体であり、2つは別物として分類されるだろう。しかし壁にネジが刺さった途端にそれは「壁」として扱われるだろう。認識される上での融合だと感じ、制作した。

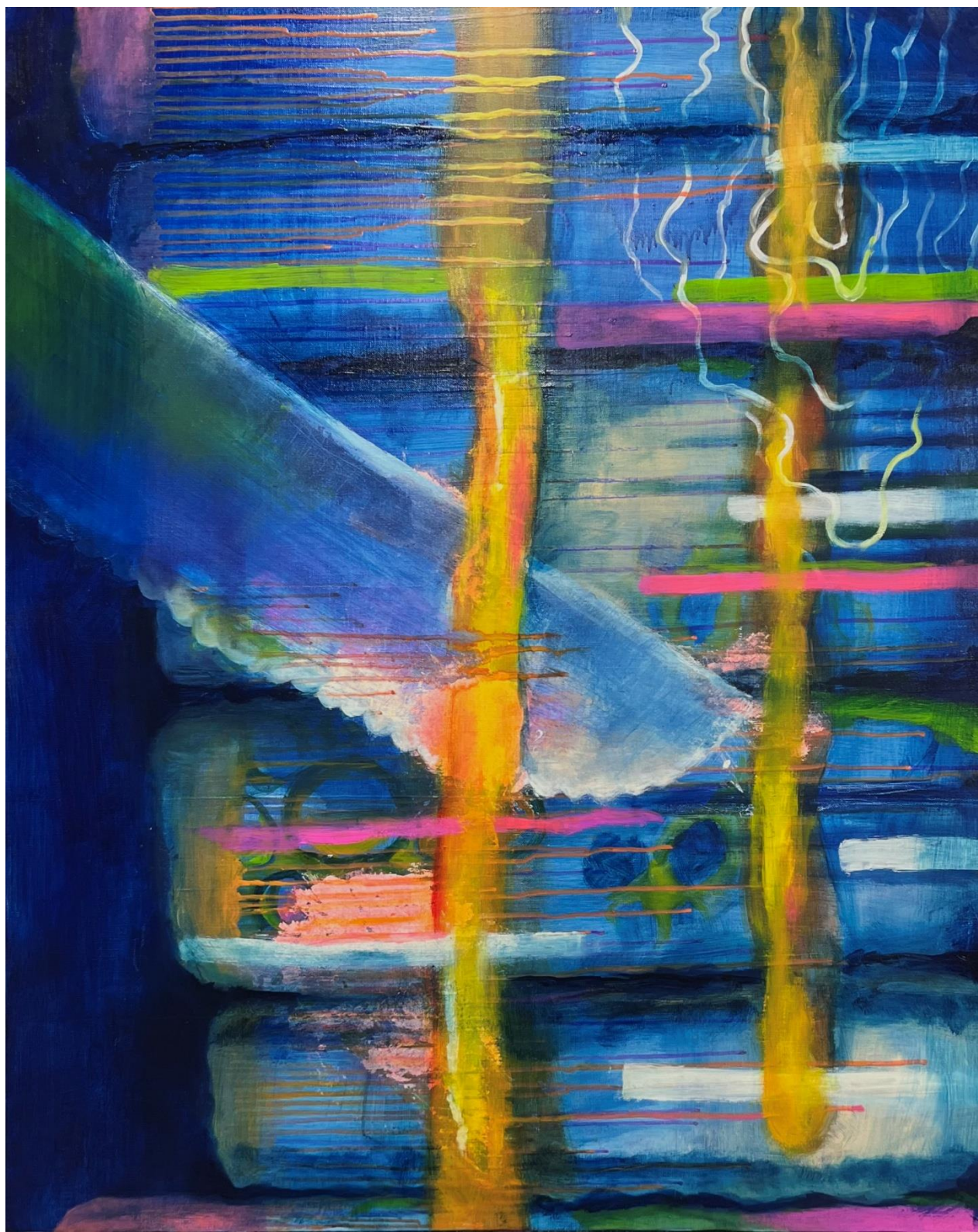
ナイフによるマチエール



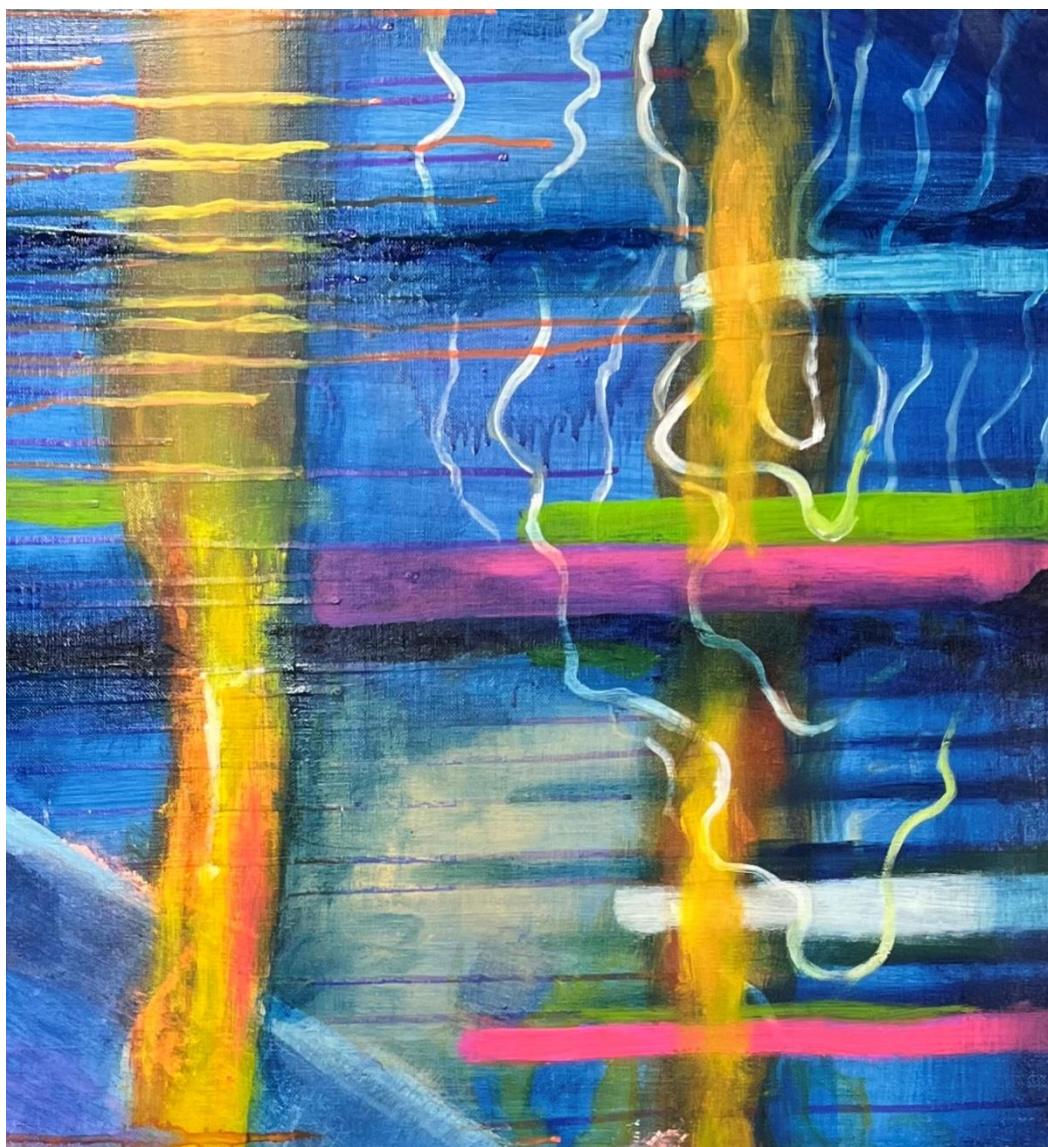
モチーフ



自主制作 「記憶の層」



2025年8月 (32時間)F30キャンバス、油彩絵具



匂いの記憶というテーマで制作した。匂いも記憶も蓄積されていく。
そうして層になっていく様子をパンケーキに喩えて表現した。層になっている
ことだけでなくパンケーキの要素も出せるように線を使ってバターの溶ける
感じやシロップが垂れる感じを表現した。



2025年8月 (20時間)F30キャンバス、油彩絵具



エスキース



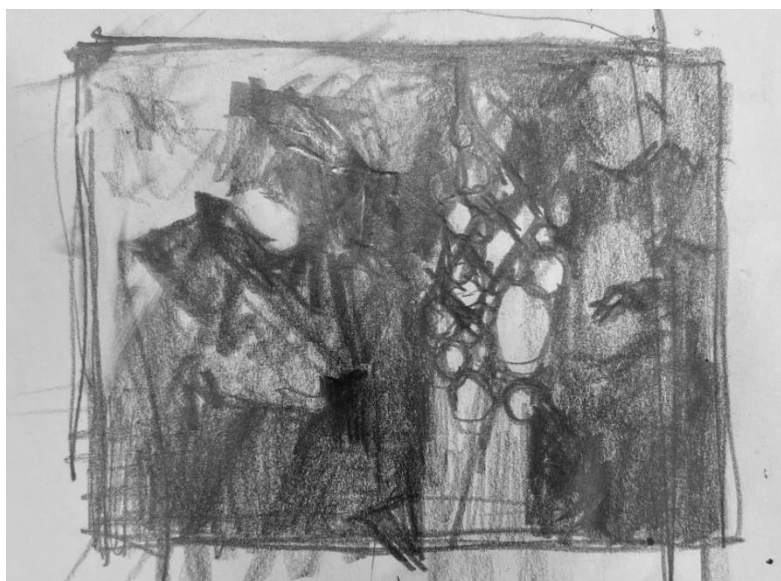
子供の見えている世界をテーマに制作した。小さい頃に横断歩道の白線だけは踏んで良く、それ以外はマグマだから危険 という遊びをしたことがある。しかし幼いながらに想像できるマグマとは熱い、明るいといったイメージしかなくぼんやりとしていたように思う。それをマグマをモザイクで表現することで表した。また、子供の視野は狭く、自分の目の前しか見えないのではと感じたため、それ以外に想像が及んでいない様子も一部を明るくすることで表現した。



2025年7月(18時間)F30号キャンバス、油彩絵具、クレヨン、ソフトパステル



モチーフである木に囲まれている電柱を自分の解釈で抽象化した。
木の明るくなっている部分が泡の集合に見えた。そのためこのように表現した。
泡の部分は目立つようにクレヨンやソフトパステルを用いている。



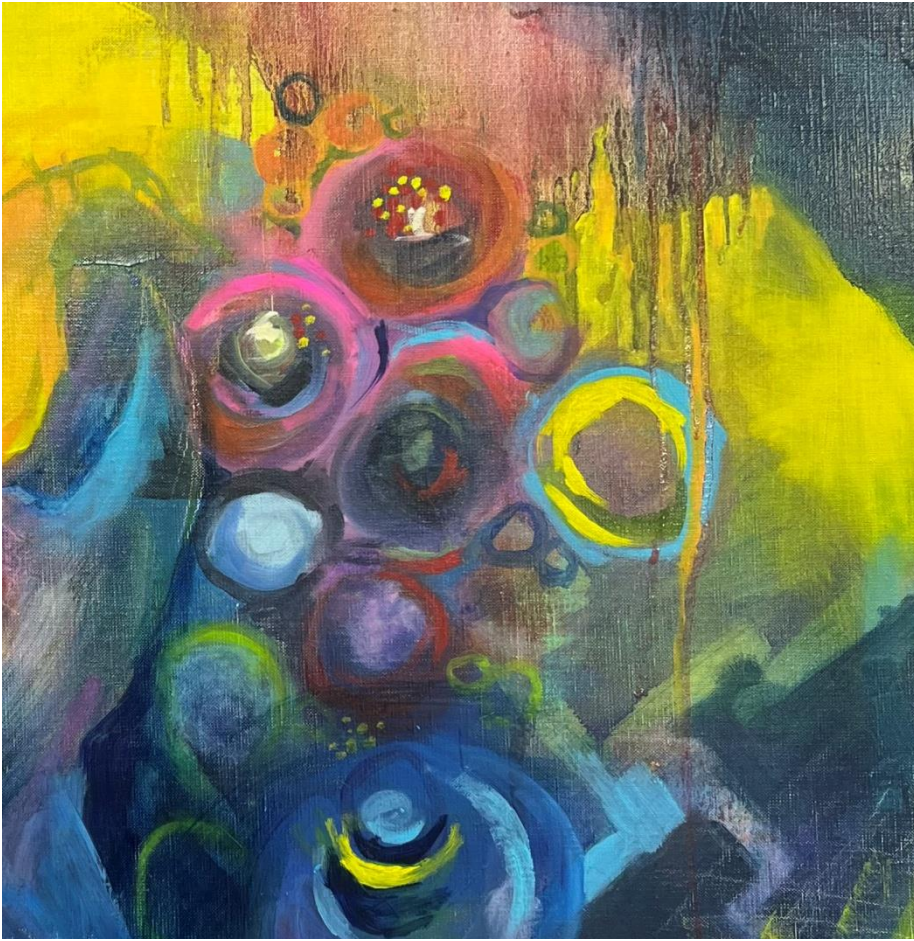
エスキース



モチーフ



2025年7月(25時間)F25号キャンバス、油彩絵具



エスキース

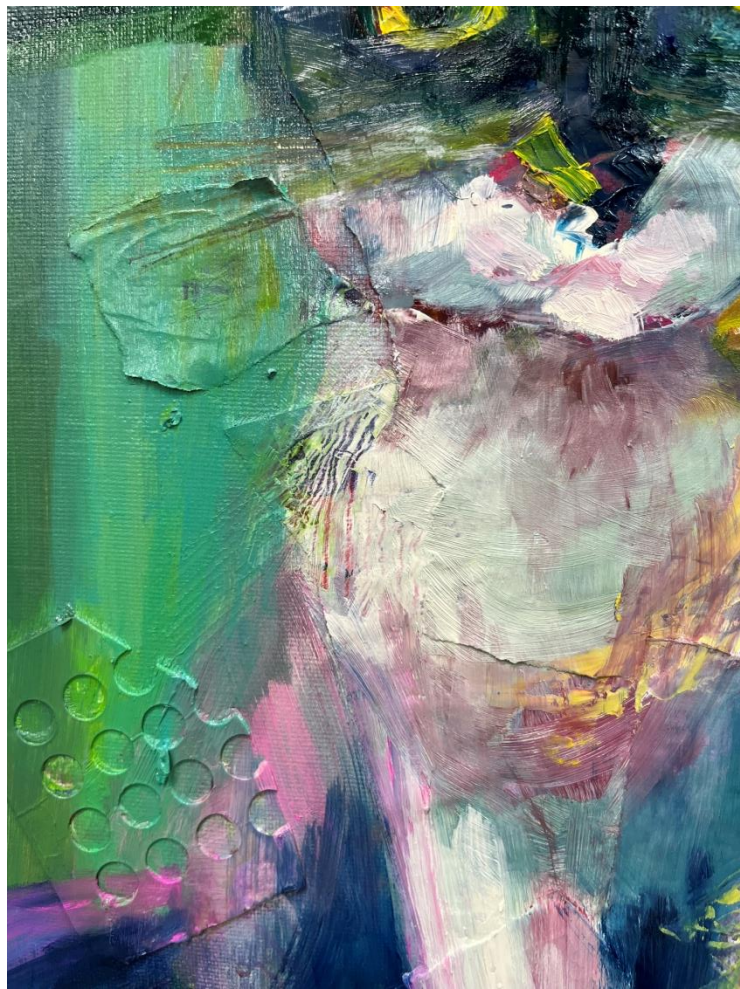


祖母が作ってくれた猫のぬいぐるみをモチーフに制作した。このぬいぐるみは中身が小さなビーズになっているので握るとビーズがぎゅっと圧縮されて硬くなる。その様子が面白かったため、手で触ってみたイメージを丸を集合させることで表した。また、ぬいぐるみの布感も出るように絵の具を使い分けて表現した。

自主制作 「佇む」



2025年7月(7時間)F6号キャンバス、油彩絵具、アクリル絵具、コピー用紙



自宅で飼っている愛猫を描いた。
窓辺で佇みじっとこちらを見つめて
くる様子は、私たちに何かを訴えて
きているようだ。言葉での意思疎通が
できないかわりに心で通じ合うという
関係性が特に愛らしいと思っている。

ドローイング

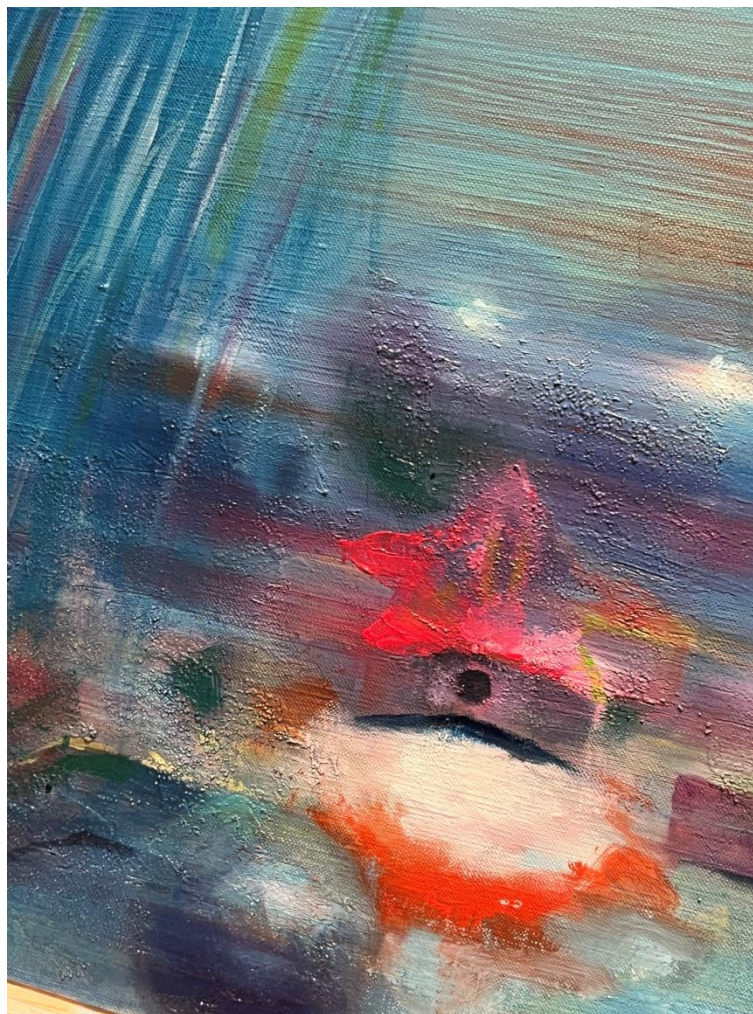


見応えと質感の違いが出るように
下地にアクリル絵具で描いた
ドローイングなどをちぎって貼っている。





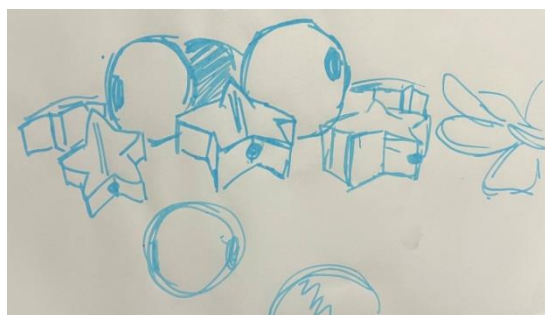
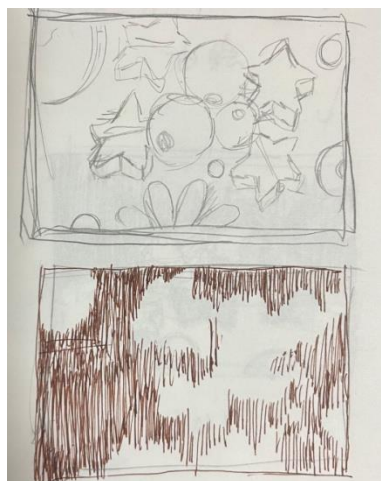
2025年5月(20時間)P10号キャンバス、油彩絵具、アクリル絵具

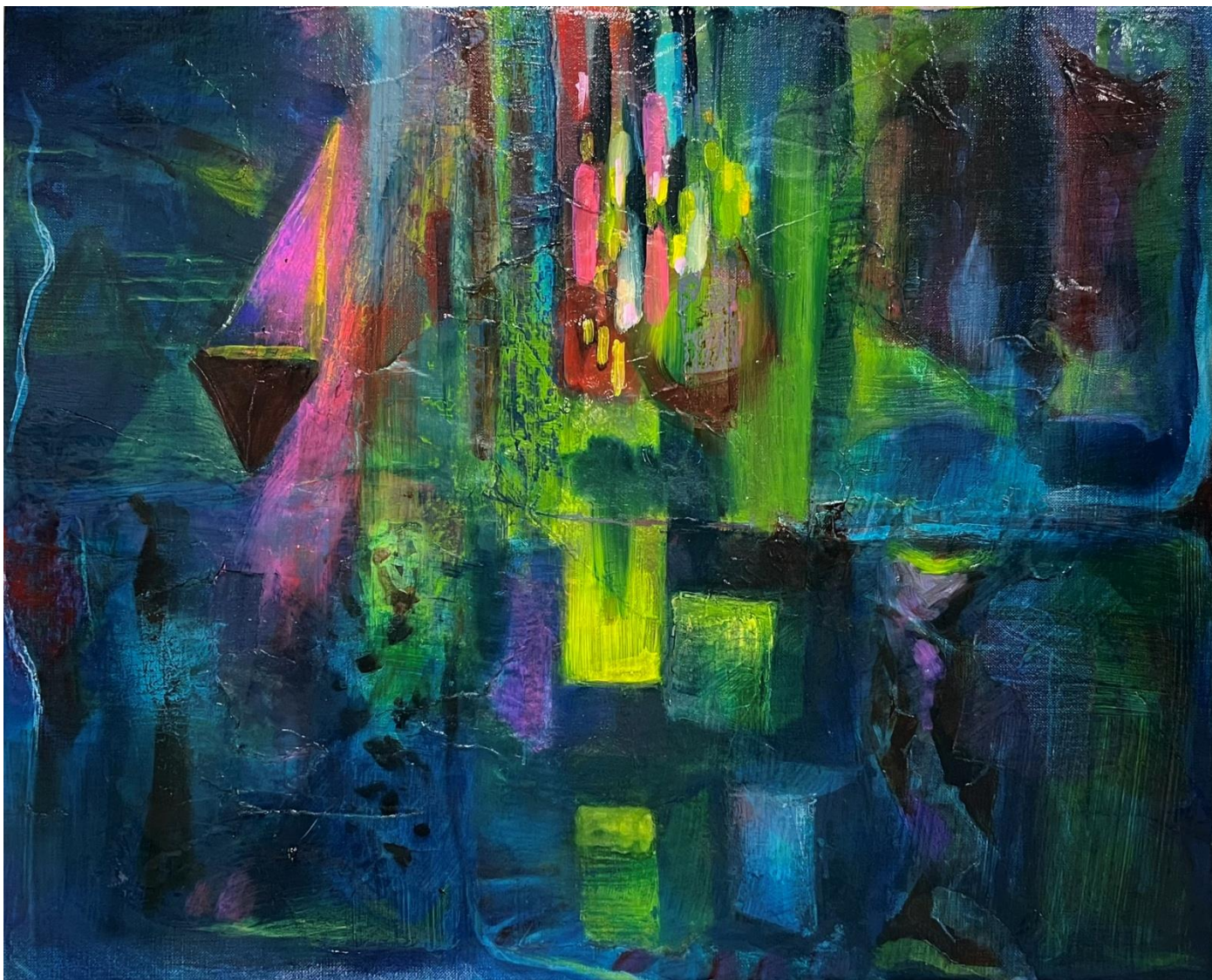


幼い頃は可愛いものが好きで、それを隠してしまうこともなかった。しかし、時が経つにつれてそれは懐かしい記憶としてある意味手の届かないものになったという感覚がある。その微妙な心情の変化を幼い頃に好きだったビーズをモチーフとすることで表現した。

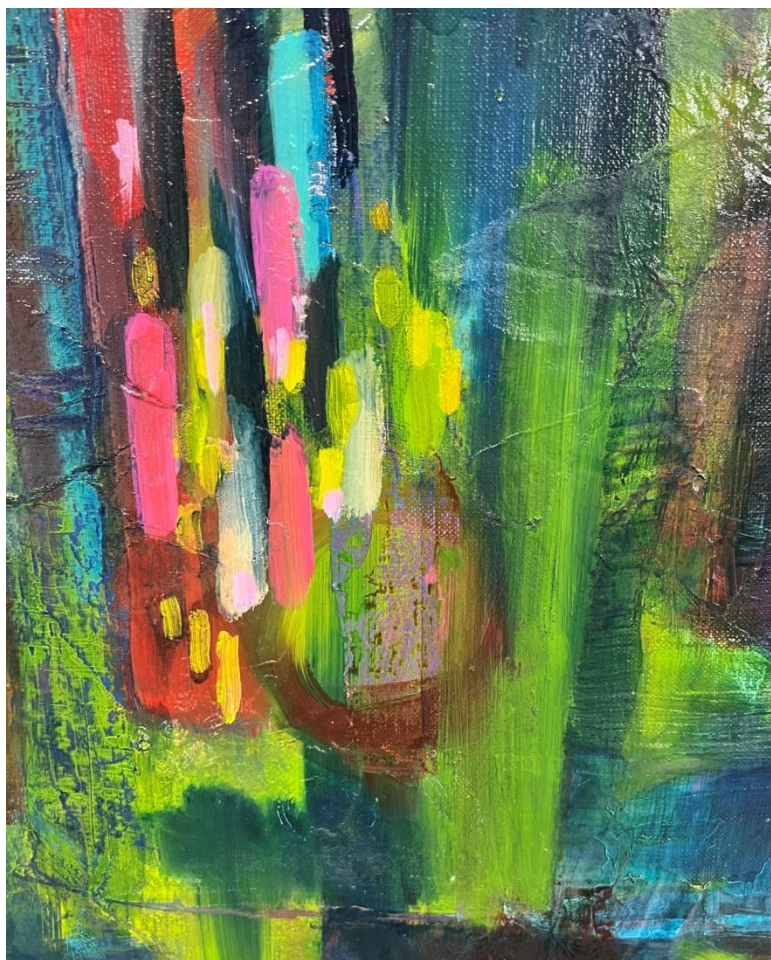
グレースと描き込みを繰り返してぼやけたような視界を表現した。

実際にビーズで構成をエスキースし、それを元にドローイング





2025年7月(32時間)F15号キャンバス、油彩絵具、アクリル絵具、コピー用紙、和紙



制作前のエスキース



コンビニのアイスクースの中のアイスを描いた。アイスは簡略化して描き、ケースの中の冷たさを表現した色味にした。また、細かなタッチはアイスのパッケージの光の反射を表現した。

この作品では新しい表現に挑戦することと、自分がどのようにモチーフに反応しているのかを考えるために制作した挑戦の一枚だ。今まではモチーフを忠実に描くことの方が多かったが、理想の表現に近づけるには抽象的な表現に挑戦してみる必要があった。実験段階のため慣れないところも多いが、成長に繋がる一枚になった。また、この作品を通してモチーフから要素を取り出して作品に繋げるという感覚に気づくことができた。この感覚がこれ以降の作品制作に大きく影響を与えていると思う。

<制作過程>



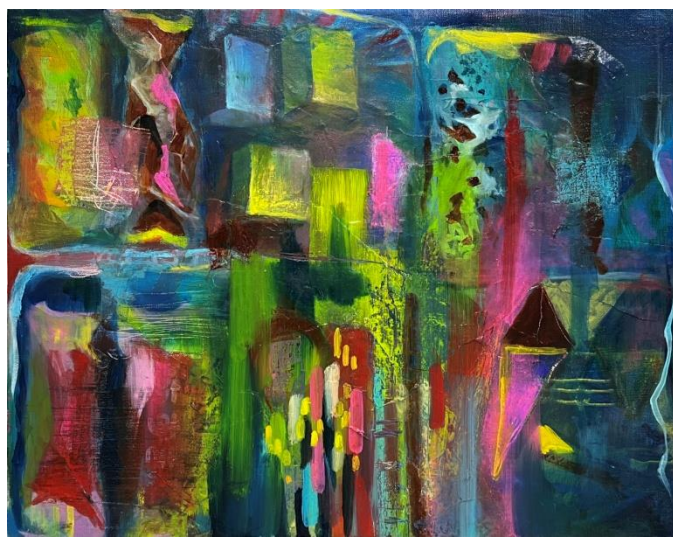
(1) 和紙やコピー用紙にアクリル絵具で
ドローイングしたものをちぎって貼り、
下地を作る。



(2) 写真を参考に描き出す。



(3) 形を簡略化したり表現の方法をたくさん
取り入れて描き進めてみる。



(4) 描いたものを潰すように暗い色を乗せたり
細かなタッチを増やしたりした。

卒業制作 「迷子」

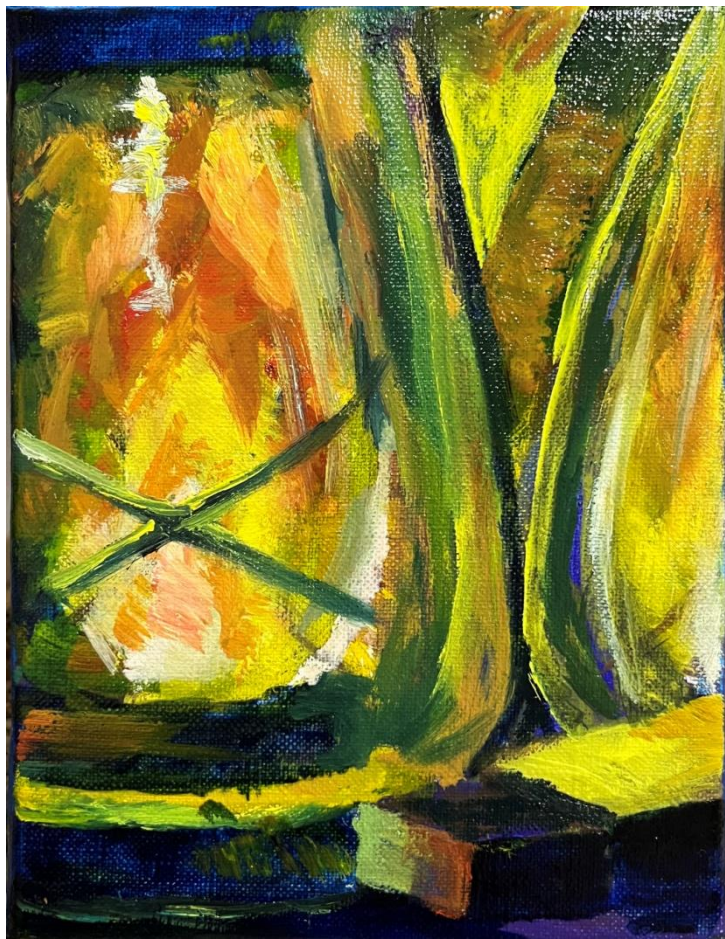


2024年12月 (制作期間:2024.10～12)F100キャンバス、F0キャンバス、
SMキャンバス、油彩絵具、アクリル絵具、胡粉ジェツソ

制作前のエスキース



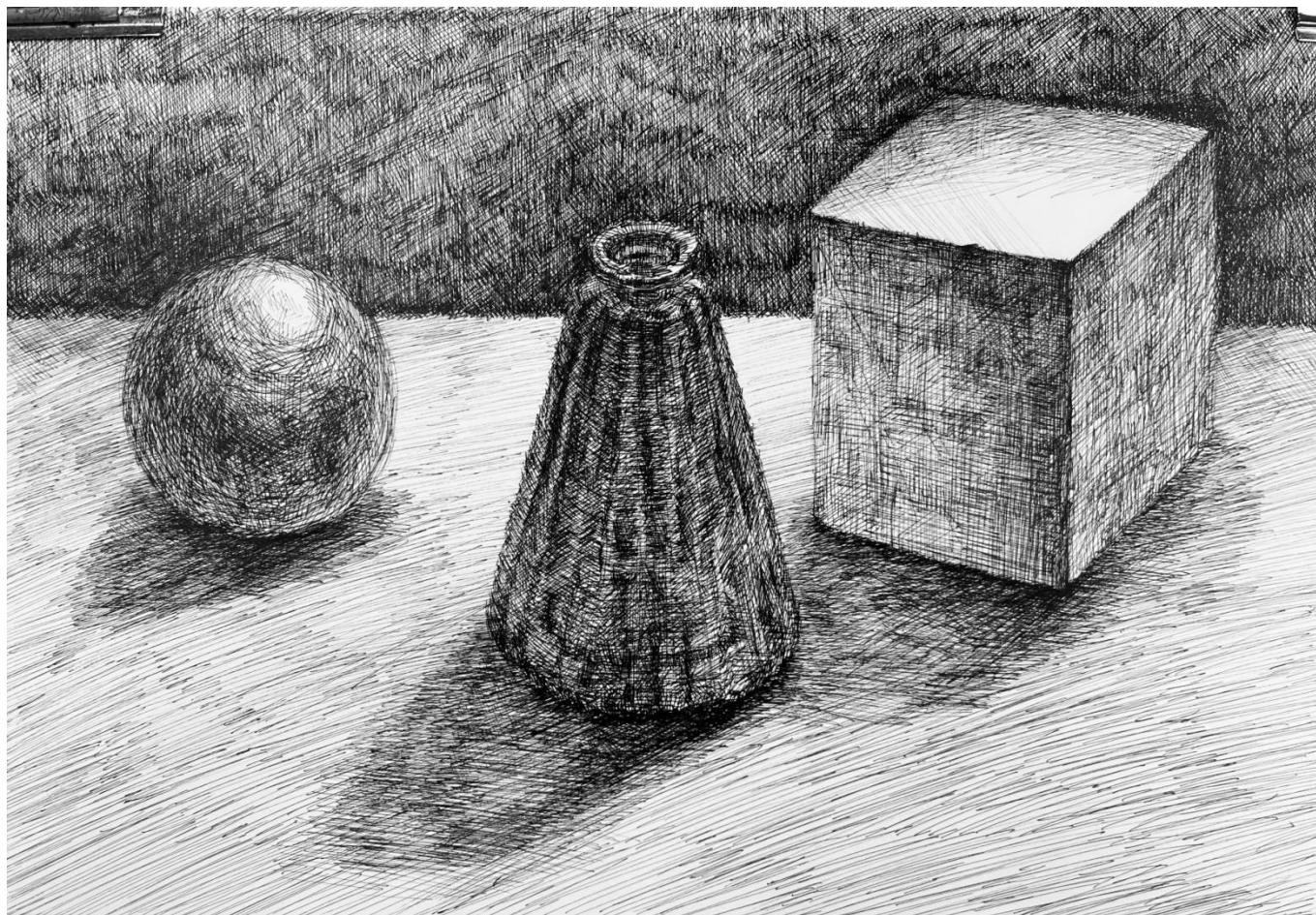
ヒトではない生き物の住む裏路地に、
一人の少女が迷い込んだ。という
ストーリーのもとこの作品を制作した。
そのストーリー性が伝わるように時間を
かけて丁寧に作業した。
一番目を引かれる黄色のランプの部分で、
磨りガラスのイメージで三角のモザイクの
ようにしたところがポイントだ。



F100号で制作したイメージに合うように
制作した2作。



ペン画

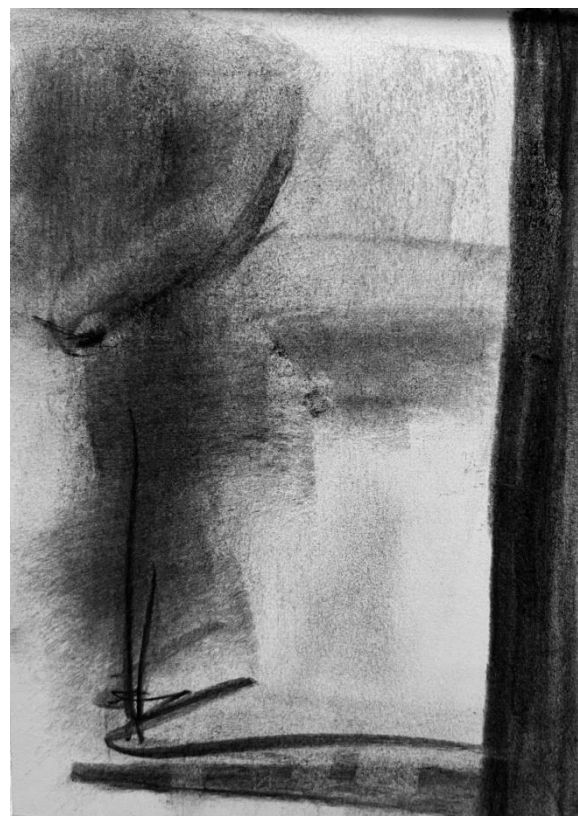
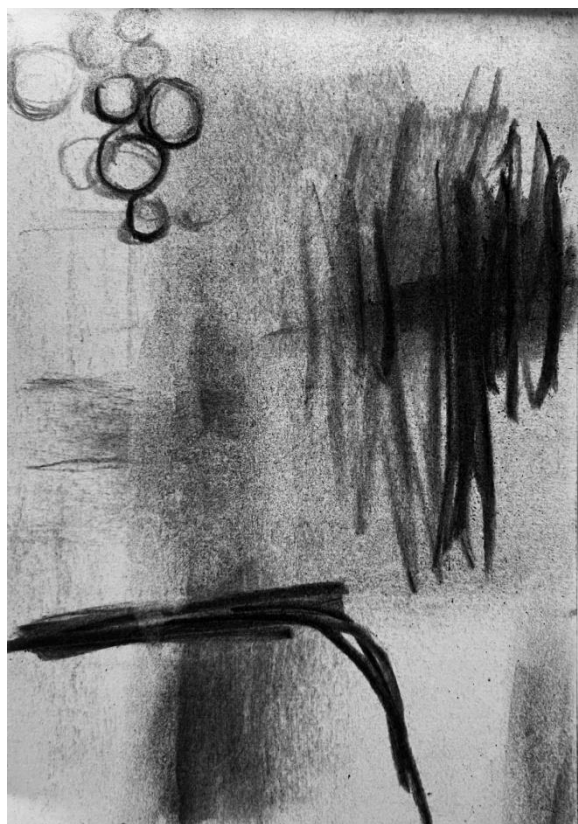


静物ペン画

2025年4月(15時間)

ケント紙、0.05mm、0.1mm、0.3mmペン

ドローイング

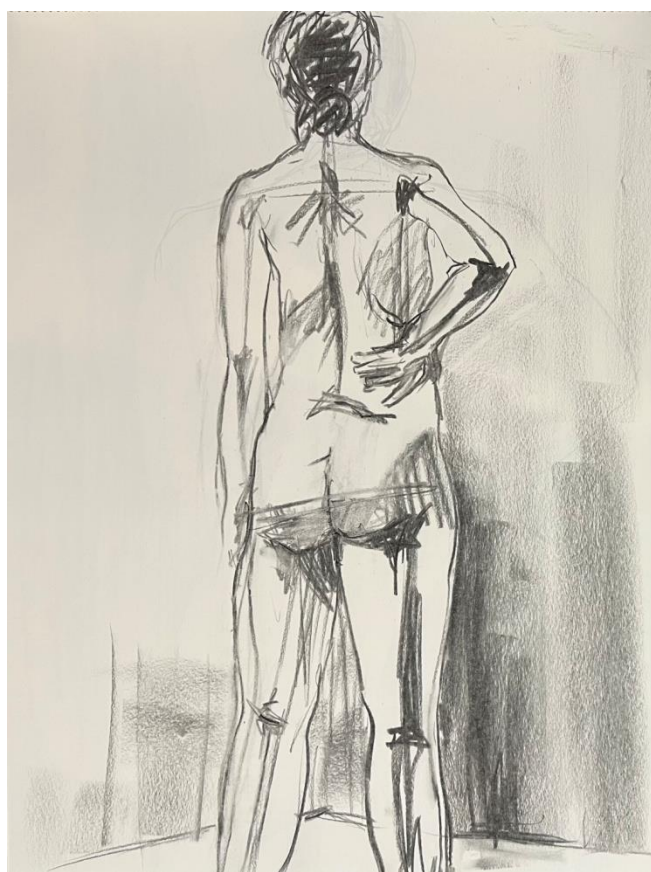
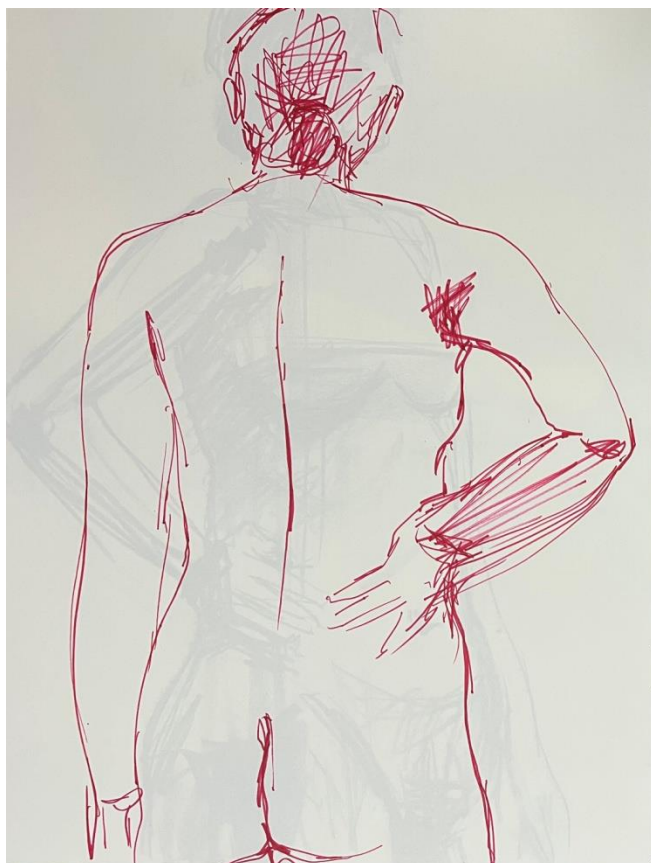




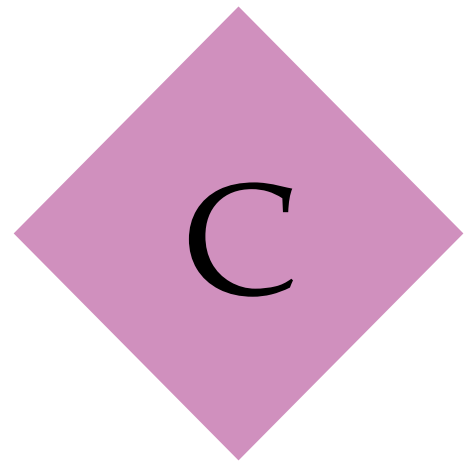
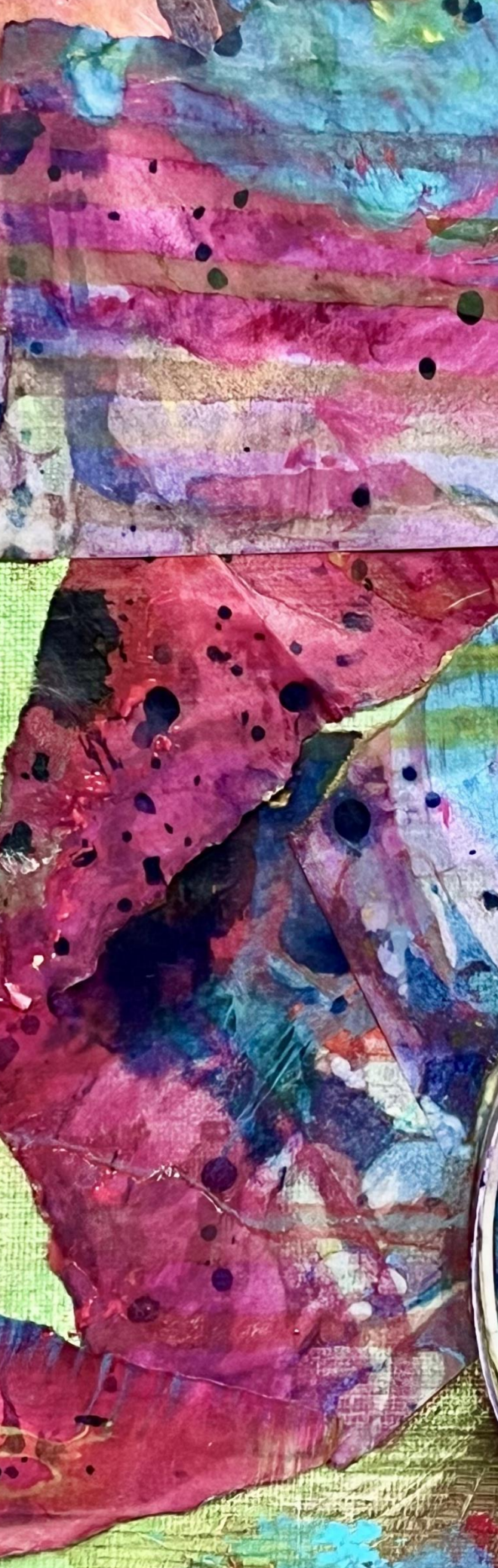
2025年4月(各10分)折り紙、液体のり



2025年3月(各10分)メモ帳、アクリル絵具、綿棒(1枚目)マッキーペン(2枚目)



人物ヌードクロッキー 2025年5月(5分、10分) 木炭紙大クロッキー帳、木炭、マッキーペン



その他の活動に
関する実績を
示す資料

文化祭入りロアーチ



2023年9月 (制作期間:2023年7~9月)
スタイロフォーム、ペンキ、油性ペン(下描き)



制作風景



<制作過程>

白塗りにしたスタイロフォームに
プロジェクターで元絵を転写



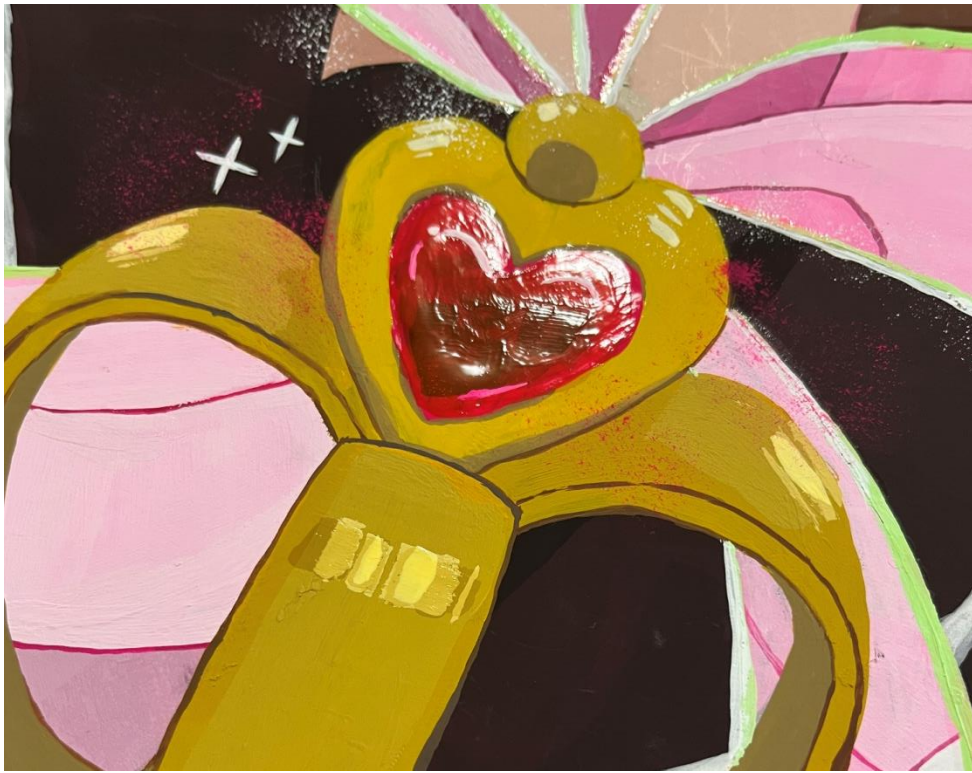
それを元に資料を見ながらペンキで再現

限られた色数のペンキでできる限り資料に近づける
ことを意識した。

その過程で名画と呼ばれるこれらの資料がどれほど
複雑な色味で描かれているかを実感した。



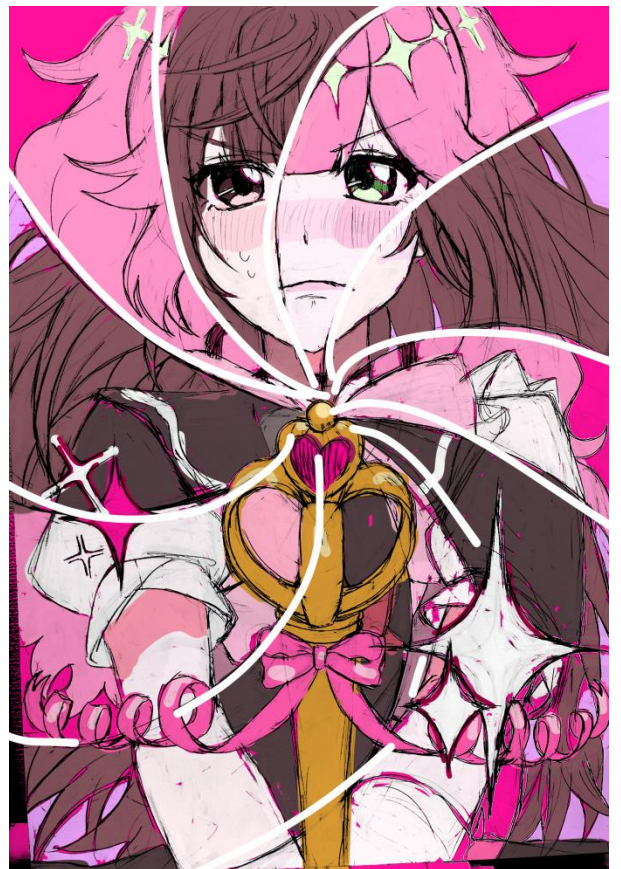
2024年8月(制作期間:2025年7~8月)



ラフ

「変身」についての永遠の憧れ、
捨てきれない希望を表現しました。

なるべくムラがなくアニメのように
なることを目指しました。
最後にステッキのハート部分に
トップコートを塗り重ねることで
少しの立体感と宝石感を出しました。



ご覧いただき
ありがとうございました。

氏名：

志望：造形学部美術学科絵画専攻領域